

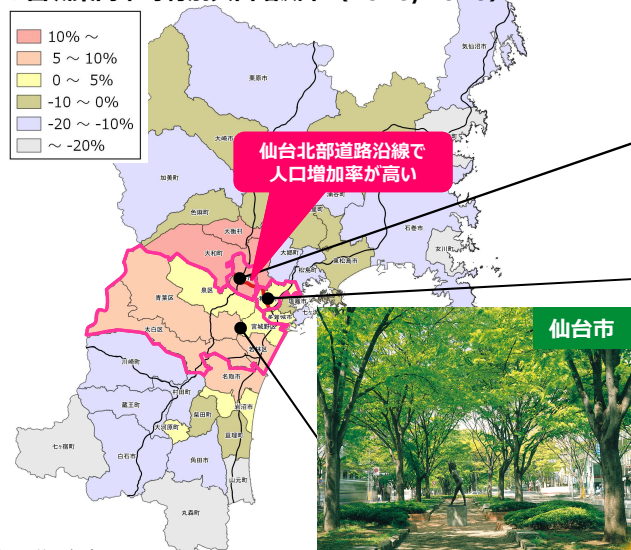
# 2

## 仙台北部道路の整備効果

# 沿線まちづくりを支援する 仙台北部道路

- 仙台北部道路の沿線では、宮城県全体が人口減少する中で**5%以上の人口増加を維持**しており、**地価や地方税収も県平均を上回る増加率**となっています。
- 仙台北部道路は、東北自動車道・三陸沿岸道路から**各地へのアクセス性、経路選択の確保**により、富谷市や利府町での**新たな宅地開発を支援**しています。
- さらに、全線開通前後で**仙台都市圏の渋滞損失時間が約3割減少**しており、**安心・快適なまちづくりの進展に貢献**しています。

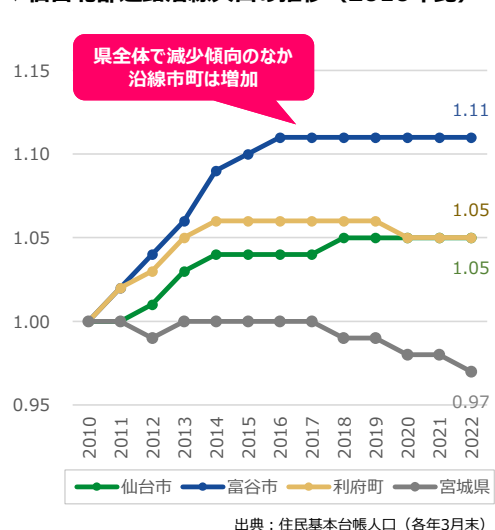
### ▼宮城県内市町村別人口増減率（2020/2010）



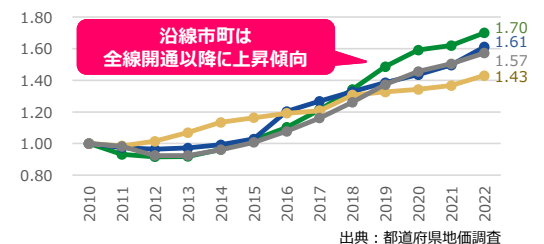
出典：国勢調査（2010、2020）

写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

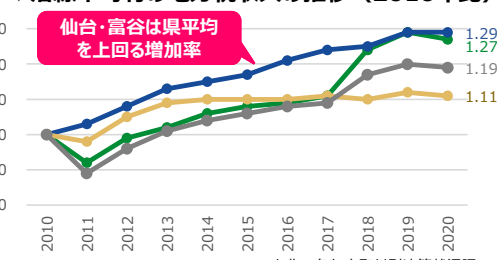
### ▼仙台北部道路沿線人口の推移（2010年比）



### ▼仙台北部道路沿線の地価（全用途）の推移（2010年比）



### ▼沿線市町村の地方税収の推移（2010年比）



## 沿線自治体のまちづくりへの貢献

### ■沿線自治体の主な宅地開発状況



出典：富谷市統計書（2012年版、2021年版）、2023年ヒアリング調査結果、仙台市HP、利府町HP

### 宅地開発企業の声

宅地開発の立地は、公共交通利便性が良く住宅需要が見込まれる場所を選定することが重要です。富谷市成田二期東地区は、仙台北部道路の沿線で交通利便性が高く、自動車通勤にも最適な交通環境で、東北自動車道や三陸沿岸道路方面へのアクセス性の向上や、東北自動車道から常磐自動車道への経路選択が可能なることも強みになっています。

出典：2023年企業ヒアリング調査



### 沿線自治体の声

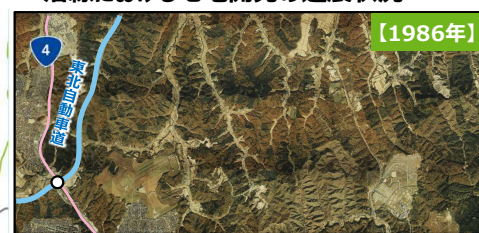
市内の大規模住宅団地は、仙台北部道路の整備後に充足率が伸び、現在は概ね100%を超過している状況です。仙台北部道路の整備により交通利便性や地域の魅力が向上し、富谷市が目指す「住みたくなるまち日本一」の形成に寄与しています。

仙台北部道路の整備によりアクセス性が向上し、交通利便性で高評価を得ており、宅地を造成するとすぐに埋まる状況で、地域活性化にもつながっています。

出典：2023年企業ヒアリング調査



### ■沿線における宅地開発の進展状況



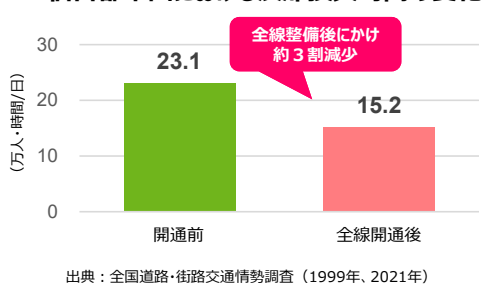
1993年 仙台北部道路事業化  
1997年 工事着手  
2013年 全線開通



出典：地理院地図を加工して作成

## 仙台都市圏のまちづくりへの貢献

### ■仙台都市圏における渋滞損失時間の変化



### 沿線自治体の声

仙台港周辺から仙台北部中核団地等への物流交通が仙台北部道路を利用することで、一般道側の渋滞緩和につながり、安心・快適なまちづくりの検討にも寄与している。

出典：2023年企業ヒアリング調査



### ▼渋滞損失時間計測エリア

